

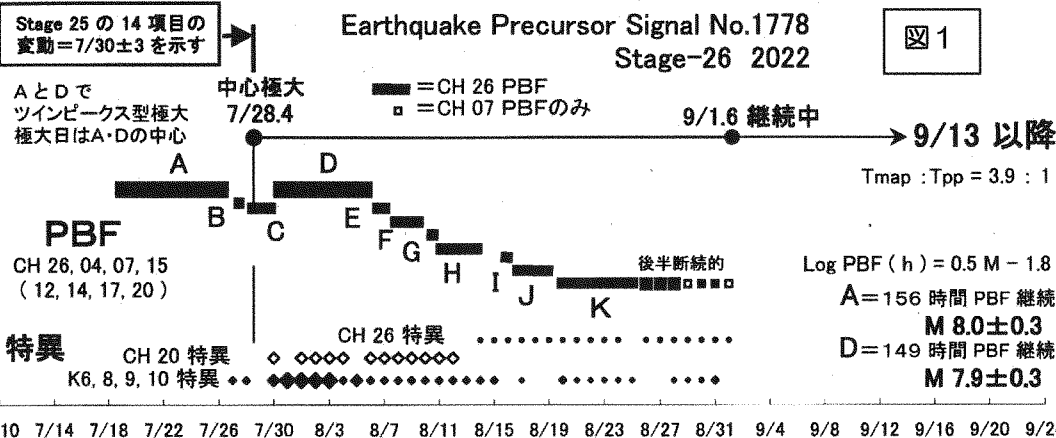
# PHP新書「地震予報」読者の皆様へ No.1778長期継続大型地震推定前兆 原稿校了後の前兆変化についての続報

## 続報 No.336

2022.09/01 (木曜) 15:00 発表

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254

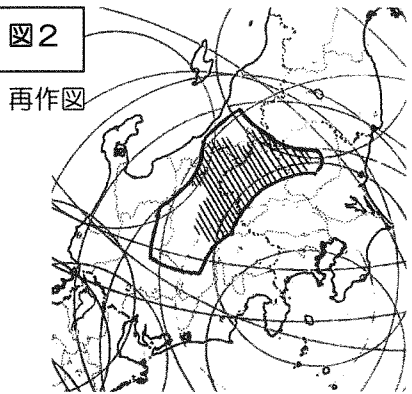
### No.1778 続報 PBF ツインピークス (2山) 型極大と再認識 修正：地震発生時期 9月13日以降



8/29朝、観測されたPBF主体のStage-26は、図1のPBF継続出現Dが極大ではなく、AとDによる2山の極大「ツインピークス型極大」であることに気づきました。  
ツインピークス型極大の過去例はBF変動で、PBFでのツインピークス型極大は今回が初めて体験するものです。

9/1.9~9/2.5終息→9/14±発生の可能性  
9/2.6~9/3.2終息→9/15±発生の可能性  
9/3.3~9/3.9終息→9/16±発生の可能性  
9/4.0~9/4.7終息→9/17±発生の可能性

そのため、2山の極大が各々規模を示すPBF継続時間計を示す形態となることは判りませんでした。しかし、過去例のBF変動によるツインピークス型極大も2山のピークのBF変動値は各々規模を示す変動値であったことから、PBFによるツインピークス型極大が各々規模値を示す継続出現時間になることは理解できます。ツインピークス型極大の極大日は2山の中心です。図1の最後のPBF出現を示すKは後半は断続的出現でA・Dの完全継続出現とは異なりますので、継続時間計は規模とは関係ないと考えます。一月以上、空白時間を挟んでPBFが出現したケースは初めてですが、ツインピークス型極大認識では図1の出現形態は過去例に合います。8/29朝時点で9/9以前に対応地震発生の可能性は否定できましたが、PBFは8/28が終息ではなく、弱い特異が続き、時間を空けて断続的にPBFが継続したため、終息確認後報告しようとしていました。しかし、CH07にPBFが断続的に出現しているため、少なくとも9/12以前に対応地震が発生する可能性は否定できます。CH26の特異も断続的微弱に見えます。終息確認後続報予定です。図2上記参照。完全終息を待っています。



- #### No.1778 対応地震 推定内容
- ◆推定領域：図2太線内領域（火山近傍領域）  
斜線域＝可能性考え易い参考推定領域
  - ◆推定規模：M8.0±0.3  
地震に伴う近隣火山活発化or噴火＝完全否定は困難
  - ◆推定時期：9月13日以降の可能性  
前兆変動終息後発生時期推定予定 終息待ち
  - ◇推定地震種：震源浅い陸域地殻地震
  - ◇推定発生時刻：AM 9:00±2 又は PM 5:00±3
- 20観測装置を超えるBF,PBF,特異等の前兆変動出現影響局位置から経験則によるドーナツ円を描き求めた。火山近傍地震前兆変動も多数観測されたため火山近傍域考え易い（特に八ヶ岳北側）
- 11回出現した主なPBF変動の出現継続時間から経験式で推定M7.8~M8.0を示す。最大推定値M8.0±0.3を使用
- 6/20・7/12に火山噴火型近似変動を観測。噴火が無いとは断定困難（過去例なく推定困難）但し変動から噴火迄の過去最長は34日のため過去例からは噴火は少々考え難い。推定領域の主な火山は日光白根山・草津白根山・浅間山・新瀧焼山等
- 14年2ヶ月継続前兆変動のStage-26の変化より 図1参照
- 前兆期間が14年と長いことから地殻地震推定。前兆変動出現数が最大30観測装置と最多から陸域地震推定。これ以外は考え難い
- 一日に2回現れる複数BT変動の日々出現開始時刻・終息時刻より